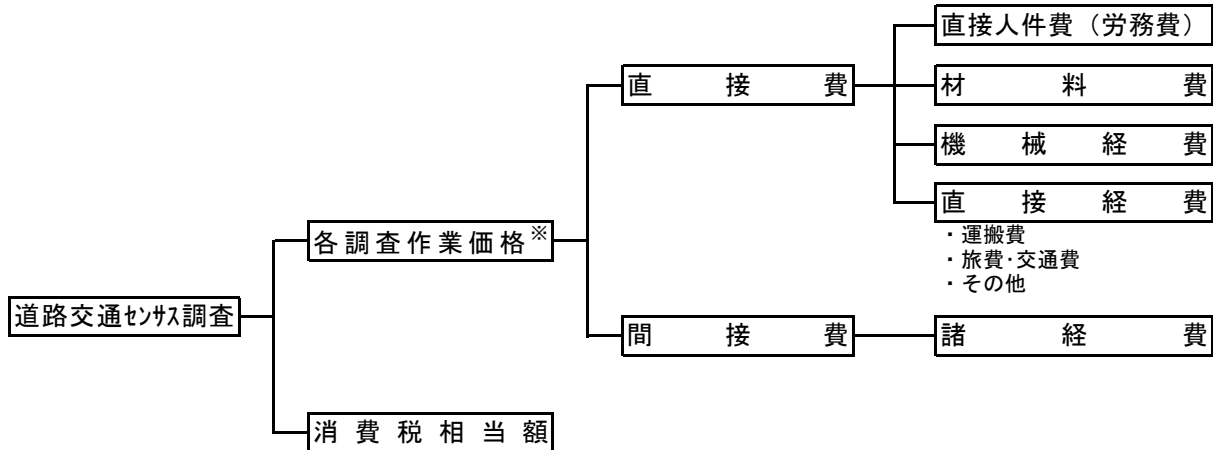


# 道路交通センサス積算基準

## 1. 道路交通センサス調査価格の構成



## 2. 直接人件費（労務費）

直接人件費（労務費）は、次表のとおりとする。

名 称	基 準 日 額	備 考
主任監督員		測量技師 の基準日額を準用する。
監督員		測量技師補の基準日額を準用する。
監督補助員		測量助手 の基準日額を準用する。
調査員		軽作業員 の基準日額を準用する。

## 3. 材料費

材料費は、当該調査を実施するに要する材料の費用を計上する。

## 4. 機械経費

機械経費は、当該調査を実施するに要する費用であり、その算定は別に定められた「建設機械等損料算定表（福島県土木部）」に基づいて積算するものとする。

## 5. 運搬費

運搬費は、当該調査を実施するに要する調査用テーブル・椅子等の運搬及び必要に応じて調査員の輸送に要する費用を計上する。

## 6. 打合せ（「設計業務等標準積算基準（福島県土木部）」の「測量業務」に準じる）

業務区分	測量主任技師	測量技師	測量技師補
業務着手時	0.5	0.5	
中間打合せ（1回当たり）	0.5		0.5
成果品納入時	0.5	0.5	

## 7. 旅費・交通費

打合せ協議に係る旅費等については「設計業務等標準積算基準（福島県土木部）第2章 積算基準（参考資料）1-2-3「測量業務」」に基づき、現地作業に係る旅費等については、本基準により積算するものとする。

## 8. 電子成果物作成費

電子成果物作成費は「設計業務等標準積算基準（福島県土木部）」の測量業務積算基準により計上する。

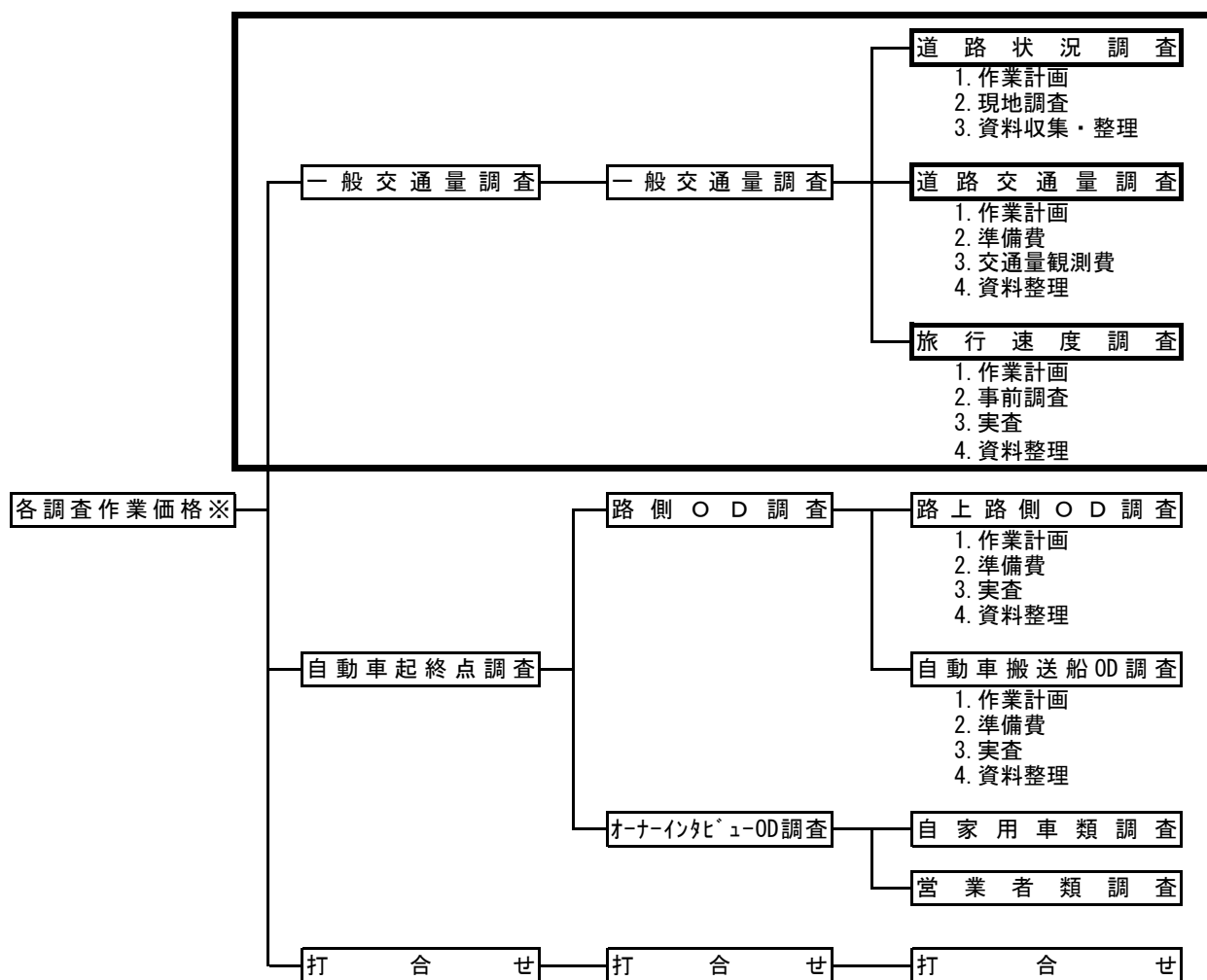
## 9. 諸経費

諸経費率は、「設計業務等標準積算基準（福島県土木部）」の測量業務積算基準の諸経費率を準用するものとする。

## 10. 消費税相当額

消費税相当額は、消費税相当分を積算するものとする。

## 11. 道路交通センサス調査項目（※各調査作業価格）



..... 今回の積算基準箇所

# 道路状況調査積算基準

## 適用範囲

この積算基準は、道路交通センサスの道路交通情勢調査のうち道路状況調査作業の予定価格算定に用いるものとする。

## 1. 作業計画

表－1 作業計画費内訳書

1 作業当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任監督員（内業）	人	1.0			
監督員（内業）	人	1.0			

備考1：作業規模等により、これによりがたい場合は別途考慮するものとする。

## 2. 現地調査

表－2 現地調査費内訳書

1 作業当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現地調査	式	1			表－3
ライトバン運転費	式	1			表－4
雑品	式	1			4. 1) による

### 1) 現地調査

道路台帳附図及びその他現況調査資料が概ねそのまま当該道路状況調査に使用できるものとし、信号のサイクル長、右折コード等について若干の現地補足調査を行うものとする。

表－3 現地調査費内訳書

1 式当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（外業）	人				
調査員（外業）	人				

### 現地調査歩掛

10 箇所当たり

	単 位	監督員 （外業）	調査員 （外業）
DID地区部	人	1.2	1.2
平地・市街地部	人	1.5	1.5
山地部	人	1.7	1.7

備考1：前回R3道路交通センサスの道路状況調査を基本とし、既存資料のみで資料収集・整理で行う場合は計上しない。

### ロ) ライトバン運転費

表－4 ライトバン運転費単価表

1 式・作業当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	リットル				運転1時間当たり燃料消費量（L/h）×運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間損料 （各コース運転時間合計）
〃		日				供用日損料

備考1：ライトバンの運転時間は  $\frac{\text{（実際の走行距離）}}{30\text{km/h}}$

備考2：ライトバンの供用日数は、1) で求めた監督員の数量を四捨五入による整数止とする。  
但し1以下は1とする。

備考3：運転手はオーナーとし、計上しない。

### 3. 資料収集・整理

資料収集・整理とは、現地調査結果、道路施設現況図書及びその他現況調査資料に基づき、各種項目の整理を行い、指定の調査票を作成するとともに、道路台帳附図等を利用して現地状況を整理する以下の作業をいう。

#### 1) 資料収集・整理

表－5 資料収集・整理内訳書

1 式当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（内業）	人				
調査員（内業）	人				
雑 品	式	1			4. 1)による

備考 1：電子データの作成を含む。

資料整理歩掛

10 調査区間当たり

	単 位	監督員 （内業）	調査員 （内業）
資料収集・整理	人	2.0	3.0

備考 1：電子データの作成を含む。

備考 2：作業規模等により、これによりがたい場合は別途考慮するものとする。

### 4. その他

#### 1) 雑品の取扱い

雑品として、直接人件費（労務費）、材料費及び機械経費相当額に対して0.5%を計上するものとする。

# 道路交通量調査積算基準【人手観測】

## 適用範囲

この積算基準は、道路交通センサスの交通量調査（一般交通量調査）作業を人手観測で実施する場合の予定価格算定に用いるものとする。

## 1. 作業計画（人手観測）

表－1 作業計画費内訳書

1 作業当たり

名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任監督員（内業）	人	0.5			
監督員（内業）	人	0.5			

備考1：作業規模等により、これによりがたい場合は別途考慮するものとする。

## 2. 準備費（人手観測）

表－2 準備費内訳書

1 作業当たり

名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員	人				
ライトバン運転費	式	1			現地確認 表-3
2tトラック運転費	式	1			器材運搬 表-4 必要に応じ計上
ライトバン運転費	式	1			調査員輸送 表-5 必要に応じ計上
マイクロバス運転費	式	1			" 表-6 必要に応じ計上
雑 品	式	1			6. 4) による

備考1：監督員の数量は、次式により求め、二捨三入により0.5人単位とする。但し観測地点が1箇所のみの場合は0.5人とする。

$$\left( \frac{L}{30} + n \text{ (全観測地点)} \right) \times \frac{1}{7} \quad \text{走行距離 (km) } L : \quad \begin{array}{l} \text{X 観測地点から全観測地点を経由してX 観} \\ \text{測地点へ戻るのに要する走行距離} \end{array}$$

備考2：ライトバンの運転費は、監督員の現地確認と交通量調査員輸送について計上するものとする。

備考3：器材運搬に使用する自動車は標準として2t積トラックを計上する。

但し、調査員輸送の場合にはマイクロバス等を計上する。

備考4：各観測地点の準備及び跡片付は、監督員、交通量調査員について、交通量観測の前後計1時間を交通量観測費において計上する。

### 4) 現地確認

表－3 ライトバン運転費単価表

1 式当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	ℓ				運転1時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当たり損料
"		日				供用日当たり損料

備考1：ライトバンの運転時間は  $\frac{L}{30\text{km/h}}$  （L：走行距離）とする。

備考2：ライトバンの供用日数は、2の備考1で求めた監督員の数量を四捨五入による整数止とする。

但し1以下は1とする。

備考3：運転手はオーナーとし、計上しない。

ロ) 器材運搬

器材運搬については、必要に応じて計上する。

表－４ ２ｔトラック運搬費単価表

１式当たり

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	摘 要
燃料	軽油	ℓ				運転１時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	２ｔトラック	h				運転時間当たり損料
〃		日				供用日当たり損料
運転手	一般	人				運転手１時間当たり 労務歩掛かり × 運転時間

備考１： ２ｔトラックの運搬１回当たりの運転時間は下記とする。

$$\frac{L'}{30\text{km/h}}$$

走行距離 L'： 運搬基地から必要観測地点を経由して運搬基地へ戻るの  
に要する走行距離

備考２： トラックの運搬１回当たりの供用日数は下記とする。

$$\frac{\text{運転時間}}{t}$$

供用日当たり運転時間 t

数量は、二捨三入による整数止とする。但し、１以下は１とする。

備考３： 運転手員数は

$$\text{運転手運転１時間当たり労務歩掛 (人/h)} \times \text{運転時間} = 1/T \times \text{運転時間}$$

(T： 運転日当り運転時間)

ハ) 調査員輸送

・ 調査員の輸送については、必要に応じて計上する。

尚、ライトバンとマイクロバスの組合せは交通量観測員の規模(人数)を考慮して行う。

・ ライトバンとマイクロバスの運転時間は、２ｔトラックに準じるものとする。

・ ライトバン及びマイクロバスの運転時間が、上記によりがたい場合は別途考慮するものとする。

表－５ ライトバン運搬費単価表

１式当たり

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	摘 要
燃料	ガソリン	ℓ				運転１時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当たり損料
〃		日				供用日当たり損料
運転手	一般	人				運転手１時間当たり 労務歩掛かり × 運転時間

表－６ マイクロバス運搬費単価表

１式当たり

名 称	規格	単位	数量	単価	金額	摘 要
燃料		ℓ				15名乗 運転１時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間 合計 26名乗 運転１時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間 合計 29名乗 運転１時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間 合計
損料	マイクロバス	h				15名乗 運転時間当損料 26名乗 運転時間当損料 29名乗 運転時間当損料
〃	〃	日				15名乗 供用日当損料 26名乗 供用日当損料 29名乗 供用日当損料
運転手	一般	人				運転手１時間当たり 労務歩掛かり × 運転時間

### 3. 交通量観測費（人手観測）

表－7 交通量観測費内訳書

1 作業当たり

名 称	単位	数量	単価	金額	摘 要
監督員（外業）	人				
調査員（外業）	〃				表－8
連絡車運転費	式	1			表－9
雑 品	〃	1			6. 4) による

備考 1： 監督員、交通量調査員の単価は、基準日額を超過勤務手当による補正した単価とし、24時間観測の場合は二交代制勤務として積算する。

備考 2： 交通量観測の前後に30分づつ計 1 時間の準備及び跡片付時間を見込むものとし、24時間観測の場合の交代時には計上しない。

備考 3： 監督員 1 人につき 1 台、観測地点の内 1 地点を本部とした観測地点間の連絡車運転を計上する。

#### 4) 交通量観測（監督員）

監督員は、発注する交通量観測の規模及び観測地点の配置条件等を考慮して計上するものとし、次式により求める。

$$\text{当該作業の監督員の人数} = \left( A + \frac{L}{10} \right) \times \frac{1}{9} \quad \begin{array}{l} A : \text{当該作業の全観測地点数} \\ L : \text{走行距離} \end{array}$$

監督員の人数は、二捨三入による整数止とする。但し、1 以下は 1 とする。

備考 1： 観測地点数が 1 箇所の場合、もしくは算出された監督員の人数が観測地点と同数以上の場合は、監督員の人数は、1 箇所当たり 1 人とし、連絡車運搬費は計上しない。

#### ロ-1) 交通量観測（調査員）4 種分類（乗用車・バス・小型貨物・普通貨物）

人手観測により、4 車種分類（乗用車・バス・小型貨物・普通貨物）の交通量観測を行う場合は、以下のとおりとする。

表－8 編成人員

1 力所 1 回当たり

昼間観測（T＝7 時～19 時）		夜間観測（T＝19 時～7 時）	
昼間12時間交通量	調査員（外業）	夜間12時間交通量	調査員（外業）
～ 5,000	3.0	～ 5,000	3.0
5,001 ～ 10,000	4.0	5,001 ～ 10,000	4.0
10,001 ～ 20,000	4.0	10,001 ～ 20,000	4.0
20,001 ～ 30,000	5.0	20,001 ～ 30,000	5.0
30,001 ～ 40,000	6.0	30,001 ～ 40,000	6.0
40,001 ～ 50,000	7.0	40,001 ～ 50,000	7.0
50,001 ～ 60,000 ※ 1		50,001 ～ 60,000 ※ 1	

※ 1 10,000 台ごとに 1 人増す。

表－8 編成人員

1 力所 1 回当たり

観測（T＝0 時～12 時）		観測（T＝12 時～0 時）	
昼間12時間交通量	調査員（外業）	夜間12時間交通量	調査員（外業）
～ 5,000	3.0	～ 5,000	3.0
5,001 ～ 10,000	4.0	5,001 ～ 10,000	4.0
10,001 ～ 20,000	4.0	10,001 ～ 20,000	4.0
20,001 ～ 30,000	5.0	20,001 ～ 30,000	5.0
30,001 ～ 40,000	6.0	30,001 ～ 40,000	6.0
40,001 ～ 50,000	7.0	40,001 ～ 50,000	7.0
50,001 ～ 60,000 ※ 1		50,001 ～ 60,000 ※ 1	

※ 1 10,000 台ごとに 1 人増す。

備考 1： 本表は、4 車種分類（乗用車・バス・小型貨物・普通貨物）、上・下方向別交通量調査の歩掛かりである。

備考 2： 交通量は、年平均交通量とし、過去のデータがない場合は近接地点の交通量から推定する。

備考 3： 歩行者・自転車・動力付き二輪車類の観測を含む

ロ-2) 交通量観測(調査員) 2種車分類 (大型車・小型車)

人手観測により、2種車分類 (大型車・小型車) の交通量観測を行う場合は、以下のとおりとする。

表-8 編成人員		1カ所1回当たり	
昼間観測 (T=7時~19時)		夜間観測 (T=19時~7時)	
昼間12時間交通量	調査員(外業)	夜間12時間交通量	調査員(外業)
~ 5,000	2.0	~ 5,000	2.0
5,001 ~ 10,000	3.0	5,001 ~ 10,000	3.0
10,001 ~ 20,000	4.0	10,001 ~ 20,000	4.0
20,001 ~ 30,000	4.0	20,001 ~ 30,000	4.0
30,001 ~ 40,000	5.0	30,001 ~ 40,000	5.0
40,001 ~ 50,000	6.0	40,001 ~ 50,000	6.0
50,001 ~ 60,000	※1	50,001 ~ 60,000	※1

※1 10,000台ごとに 1人増す。

表-8 編成人員		1カ所1回当たり	
観測 (T=0時~12時)		観測 (T=12時~0時)	
昼間12時間交通量	調査員(外業)	夜間12時間交通量	調査員(外業)
~ 5,000	2.0	~ 5,000	2.0
5,001 ~ 10,000	3.0	5,001 ~ 10,000	3.0
10,001 ~ 20,000	4.0	10,001 ~ 20,000	4.0
20,001 ~ 30,000	4.0	20,001 ~ 30,000	4.0
30,001 ~ 40,000	5.0	30,001 ~ 40,000	5.0
40,001 ~ 50,000	6.0	40,001 ~ 50,000	6.0
50,001 ~ 60,000	※1	50,001 ~ 60,000	※1

※1 10,000台ごとに 1人増す。

備考1: 本表は、2車種分類 (大型車・小型車)、上・下方向別交通量調査の歩掛かりである。

備考2: 交通量は、年平均交通量とし、過去のデータがない場合は近接地点の交通量から推定する。

備考3: 歩行者・自転車・動力付き二輪車類の観測を含む

ロ-3) 交通量観測(調査員) 歩行者・自転車

人手観測により、歩行者・自転車の交通量観測を行う場合は、以下のとおりとする。

表-8 編成人員		1カ所1回当たり
昼間観測 (T=7時~19時)		
昼間12時間交通量	調査員(外業)	
~ 1,000	2.0	
1,001 ~ 5,000	3.0	
10,001 ~	※1	

※1 5,000人・台ごとに 1人増す。

備考1: 本表は、歩行者・自転車、上・下方向別交通量調査の歩掛かりである。

備考2: 交通量は、年平均交通量とし、過去のデータがない場合は近接地点の交通量から推定する。

ロ-4) 交通量観測(調査員) 歩行者・自転車・動力付き二輪車類

人手観測により、歩行者・自転車・動力付き二輪車類の交通量観測を行う場合は、以下のとおりとする。

表-8 編成人員		1カ所1回当たり
昼間観測 (T=7時~19時)		
昼間12時間交通量	調査員(外業)	
~ 1,000	2.0	
1,001 ~ 5,000	3.0	
10,001 ~	※1	

※1 5,000人・台ごとに 1人増す。

備考1: 本表は、歩行者・自転車・動力付き二輪車類、上・下方向別交通量調査の歩掛かりである。

備考2: 交通量は、年平均交通量とし、過去のデータがない場合は近接地点の交通量から推定する。



ロ) 連絡車運転

表－9 連絡車運転費単価表

1 式当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	ℓ				運転1時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	ライトパン 1.5L	h				運転時間当たり損料
〃		台・日				供用日当たり損料
雑品		式	1			6. ｲ)による

備考 1 : 連絡車の運転時間は、次式による。

$$\frac{\text{走行距離 (L)} \times \text{訪問回数}}{30\text{km/h}} = \frac{L \times 3}{30} = \frac{L}{10} \text{ (時間)}$$

備考 2 : 供用日は、3 のｲ) で求めた監督員の人数とするが、2 4 時間観測する場合は、昼夜間いずれが多い方の人数をとり、他方では計上しない。

備考 3 : 運転手はオーナーとし、計上しない。

## 4. 資料整理（人手観測）

ｲ-1) 資料整理（4 種分類）

1 式当たり

表－10 資料整理内訳書

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（内業）	人				
雑品	式	1			6. ｲ)による

備考 1 : 監督員 0.6 人/12 時間/1 箇所

ｲ-2) 資料整理（2 種分類）

1 式当たり

表－10 資料整理内訳書

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（内業）	人				
雑品	式	1			6. ｲ)による

備考 1 : 監督員 0.5 人/12 時間/1 箇所

ｲ-3) 資料整理（歩行者・自転車）

1 式当たり

表－10 資料整理内訳書

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（内業）	人				
雑品	式	1			6. ｲ)による

備考 1 : 監督員 0.3 人/12 時間/1 箇所

ｲ-3) 資料整理（歩行者・自転車・動力付き二輪車類）

1 式当たり

表－10 資料整理内訳書

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（内業）	人				
雑品	式	1			6. ｲ)による

備考 1 : 監督員 0.4 人/12 時間/1 箇所

## 5. 直接人件費（労務費）（人手観測）

直接人件費（労務費）は〔基準日額 × （1 + 時間割増し）〕で算定する。

表－11 直接人件費（労務費）（昼間7:00～19:00、夜間19:00～7:00）

監督員・調査員				r : 構成比 P : 基準日額
交通量観測時間	昼間12時間観測	昼夜間24時間観測		
		昼間12時間	夜間12時間	
補正単価	$P \times (1+5.0r/8)$	$P \times (1+4.375r/8)$	$P \times (1+5.875r/8)$	

備考 1 : 本表の時間帯は、昼間7～19時、夜間19～7時の設定であり時間帯がかわる場合は、別途算定のこと。

備考 2 : 直接人件費（労務費）は、切り捨てにより 1 0 円単位とする。

表一12 直接人件費（労務費）（0:00～12:00、12:00～0:00）

監督員・調査員			r：構成比 P：基準日額
交通量観測時間	昼夜間24時間観測		
	0～12時	12～0時	
補正単価	$P \times (1+5.5r/8)$	$P \times (1+5r/8)$	

備考 1： 本表の時間帯は、0～12時、12～0時の設定であり時間帯がかわる場合は、別途算定のこと。

備考 2： 直接人件費（労務費）は、切り捨てにより 10 円単位とする。

## 6. その他（人手観測）

### イ) 雑品の取扱い

雑品として、直接人件費（労務費）、材料費及び機械経費相当額に対して0.5%を計上するものとする。

# 道路交通量調査積算基準【機械観測（ビデオ観測）】

## 適用範囲

この積算基準は、道路交通センサスの交通量調査（一般交通量調査）作業を機械観測（ビデオ観測）で実施する場合の予定価格算定に用いるものとする。

## 1. 作業計画（機械観測（ビデオ観測））

表-1 作業計画費内訳書

1 作業当たり

名 称	単位	数量	単価	金額	摘 要
主任監督員（内業）	人	0.5			
監督員（内業）	人	0.5			

備考1：作業規模等により、これによりがたい場合は別途考慮するものとする。

## 2. 準備費（機械観測（ビデオ観測））

表-2 準備費内訳書

1 作業当たり

名 称	単位	数量	単価	金額	摘 要
監督員	人				
ライトバン運転費	式	1			現地確認 表-3
雑 品	式	1			8.4)による

備考1：監督員の数量は、次式により求め、二捨三入により0.5人単位とする。但し観測地点が1箇所のみ  
の場合は0.5人とする。

$$\left( \frac{L}{30} + n \text{ (全観測地点)} \right) \times \frac{1}{7} \quad \text{走行距離 (km) } L : \quad \times \text{観測地点から全観測地点を経由して} \times \text{観測地点へ戻るのに要する走行距離}$$

備考2：ライトバンの運転費は、監督員の現地確認について計上するものとする。

### イ) 現地確認

表-3 ライトバン運転費単価表

1 式当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	リットル				運転1時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当たり損料
〃		日				供用日当たり損料

備考1：ライトバンの運転時間は  $\frac{L}{30\text{km/h}}$  （L：走行距離）とする。

備考2：ライトバンの供用日数は、2の備考1で求めた監督員の数量を四捨五入による整数止とする。  
但し1以下は1とする。

備考3：運転手はオーナーとし、計上しない。

## 3. 機械設置撤去（機械観測（ビデオ観測））

表-4 機械設置内訳書

1 箇所当たり

名 称	単位	数量	単価	金額	摘 要
監督員	人				
調査員	人	0.23			
ライトバン運転費	式	1			監督員・調査員輸送、機材運搬 表-5 必要に応じ計上
機械経費	%	0.6			8.ウ)による

### イ) 監督員・調査員輸送、機材運搬

表-5 ライトバン運転費単価表

1 式当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	リットル				運転1時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当たり損料
〃		日				供用日当たり損料
雑 品		式	1			8.4)による

備考1：ライトバンの運転時間は  $\frac{L}{30\text{km/h}}$  （L：走行距離）とする。

備考2：ライトバンの供用日数は、2の備考1で求めた監督員の数量を四捨五入による整数止とする。  
但し1以下は1とする。

備考3：運転手はオーナーとし、計上しない。

## 5. 撮影・巡回管理（機械観測（ビデオ観測））

### 2車線以下 12時間観測

表-6 撮影・巡回管理内訳書

1箇所あたり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員	人	0.2			
調査員	人	1.0			
ライトバン運転費	式	1			監督員・調査員輸送、機材運搬 表-7 必要に応じ計上
機械経費	台	1	18,000	18,000	撮影機器含む

#### イ) 監督員・調査員輸送、機材運搬

表-7 ライトバン運転費単価表

1式あたり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	リットル				運転1時間あたり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間あたり損料
〃		日				供用日あたり損料
雑 品		式	1			8.イ)による

備考1：ライトバンの運転時間は

$$\frac{L}{30\text{km/h}} \quad (L: \text{走行距離}) \text{とする。}$$

備考2：ライトバンの供用日数は、2の備考1で求めた監督員の数量を四捨五入による整数止とする。  
但し1以下は1とする。

備考3：運転手はオーナーとし、計上しない。

備考4：管内10箇所以下の観測を行う場合のみ、適用する。

### 2車線以下 24時間観測

表-8 撮影・巡回管理内訳書

1箇所あたり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員	人	0.4			
調査員	人	2.0			
ライトバン運転費	式	1			監督員・調査員輸送、機材運搬 表-9 必要に応じ計上
機械経費	台	1	60,000	60,000	撮影機器含む

#### イ) 監督員・調査員輸送、機材運搬

表-9 ライトバン運転費単価表

1式あたり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	リットル				運転1時間あたり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間あたり損料
〃		日				供用日あたり損料
雑 品		式	1			8.イ)による

備考1：ライトバンの運転時間は

$$\frac{L}{30\text{km/h}} \quad (L: \text{走行距離}) \text{とする。}$$

備考2：ライトバンの供用日数は、2の備考1で求めた監督員の数量を四捨五入による整数止とする。  
但し1以下は1とする。

備考3：運転手はオーナーとし、計上しない。

備考4：管内10箇所以下の観測を行う場合のみ、適用する。

備考5：街灯等があり視認性を確保出来る箇所のみ、24時間観測の対象とする。

#### 4車線以下 12時間観測

表-10 撮影・巡回管理内訳書

1箇所当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員	人	0.2			
調査員	人	1.0			
ライトバン運転費	式	1			監督員・調査員輸送、機材運搬 表-11 必要に応じ計上
機械経費	台	2	18,000	36,000	撮影機器含む

#### イ) 監督員・調査員輸送、機材運搬

表-11 ライトバン運転費単価表

1式当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	リットル				運転1時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当たり損料
〃		日				供用日当たり損料
雑 品		式	1			8.イ)による

備考1：ライトバンの運転時間は  $\frac{L}{30\text{km/h}}$  (L：走行距離) とする。

備考2：ライトバンの供用日数は、2の備考1で求めた監督員の数量を四捨五入による整数止とする。  
但し1以下は1とする。

備考3：運転手はオーナーとし、計上しない。

備考4：管内10箇所以下の観測を行う場合のみ、適用する。

#### 4車線以下 24時間観測

表-12 撮影・巡回管理内訳書

1箇所当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員	人	0.4			
調査員	人	2.0			
ライトバン運転費	式	1			監督員・調査員輸送、機材運搬 表-13 必要に応じ計上
機械経費	台	2	60,000	120,000	撮影機器含む

#### イ) 監督員・調査員輸送、機材運搬

表-13 ライトバン運転費単価表

1式当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	リットル				運転1時間当たり燃料消費量 (L/h) × 運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当たり損料
〃		日				供用日当たり損料
雑 品		式	1			8.イ)による

備考1：ライトバンの運転時間は  $\frac{L}{30\text{km/h}}$  (L：走行距離) とする。

備考2：ライトバンの供用日数は、2の備考1で求めた監督員の数量を四捨五入による整数止とする。  
但し1以下は1とする。

備考3：運転手はオーナーとし、計上しない。

備考4：管内10箇所以下の観測を行う場合のみ、適用する。

備考5：街灯等があり視認性を確保出来る箇所のみ、24時間観測の対象とする。

6. ビデオ観測・資料整理（機械観測（ビデオ観測））

イ-1) ビデオ観測・資料整理（4種分類）

1箇所当たり

表-14 資料整理内訳書

名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（内業）	人	0.73			
監督補助員（内業）	人				
調査員（内業）	人	2.0			
機械経費	%	0.6			8.ウ)による

イ-2) ビデオ観測・資料整理（2種分類）

1箇所当たり

表-15 資料整理内訳書

名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（内業）	人	0.63			
監督補助員（内業）	人				
調査員（内業）	人	2.0			
機械経費	%	0.6			8.ウ)による

イ-3) ビデオ観測・資料整理（歩行者・自転車）

1箇所当たり

表-16 資料整理内訳書

名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（内業）	人	0.43			
監督補助員（内業）	人				
調査員（内業）	人	2.0			
機械経費	%	0.6			8.ウ)による

イ-4) ビデオ観測・資料整理（歩行者・自転車・動力付き二輪車類）

1箇所当たり

表-17 資料整理内訳書

名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員（内業）	人	0.53			
監督補助員（内業）	人				
調査員（内業）	人	2.0			
機械経費	%	0.6			8.ウ)による

7. 直接人件費（労務費）

直接人件費（労務費）は〔基準日額×（1+時間割増し）〕で算定する。

表-20 直接人件費（労務費）（昼間7:00～19:00、夜間19:00～7:00）

監督員・調査員			
交通量観測時間	昼間12時間観測	昼夜間24時間観測	
		昼間12時間	夜間12時間
補正単価	$P \times (1+5.0r/8)$	$P \times (1+4.375r/8)$	$P \times (1+5.875r/8)$

r: 構成比

P: 基準日額

備考1: 本表の時間帯は、昼間7～19時、夜間19～7時の設定であり時間帯が変わる場合は、別途算定のこと。

備考2: 直接人件費（労務費）は、切り捨てにより10円単位とする。

表-21 直接人件費（労務費）（0:00～12:00、12:00～0:00）

監督員・調査員		
交通量観測時間	昼夜間24時間観測	
	0～12時	12～0時
補正単価	$P \times (1+5.5r/8)$	$P \times (1+5r/8)$

r: 構成比

P: 基準日額

備考1: 本表の時間帯は、0～12時、12～0時の設定であり時間帯が変わる場合は、別途算定のこと。

備考2: 直接人件費（労務費）は、切り捨てにより10円単位とする。

8. その他

イ) 雑品の取扱い

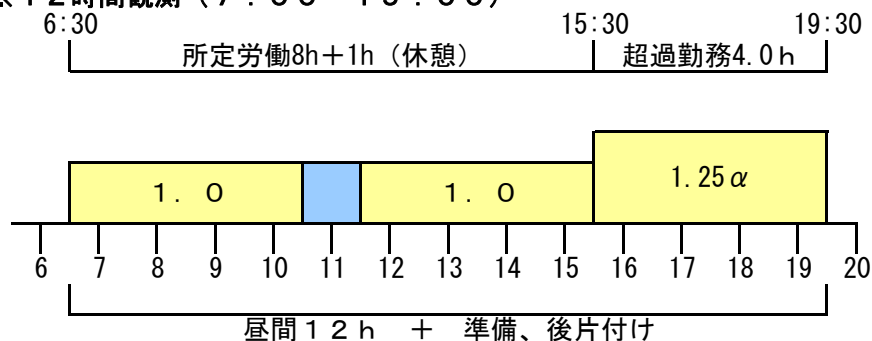
雑品として、直接人件費（労務費）、材料費及び機械経費相当額に対して0.6%を計上するものとする。

ウ) 機械経費の取り扱い

機械経費は直接人件費（労務費）を対象とする。

## 一般交通量調査 労務単価 参考資料

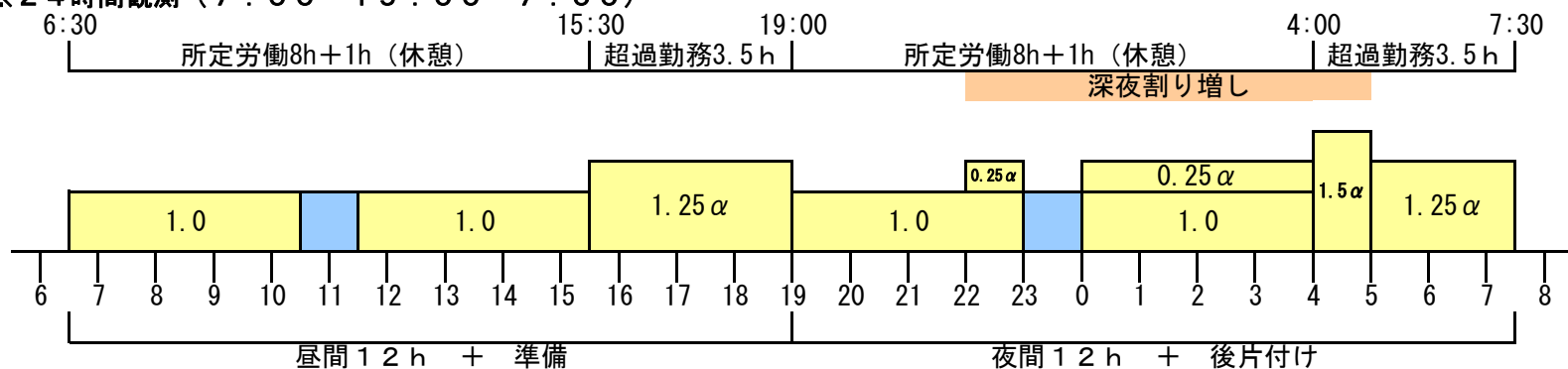
### ※12時間観測（7：00～19：00）



※交通量観測の前後に30分ずつ計1時間の準備及び跡片付時間を見込むものとする。

$$\begin{aligned} \text{昼間(12h)調査} &: P \times (1+r \text{ (4.0h} \times 1.25/8)) \\ &= P \times (1+5r/8) \end{aligned}$$

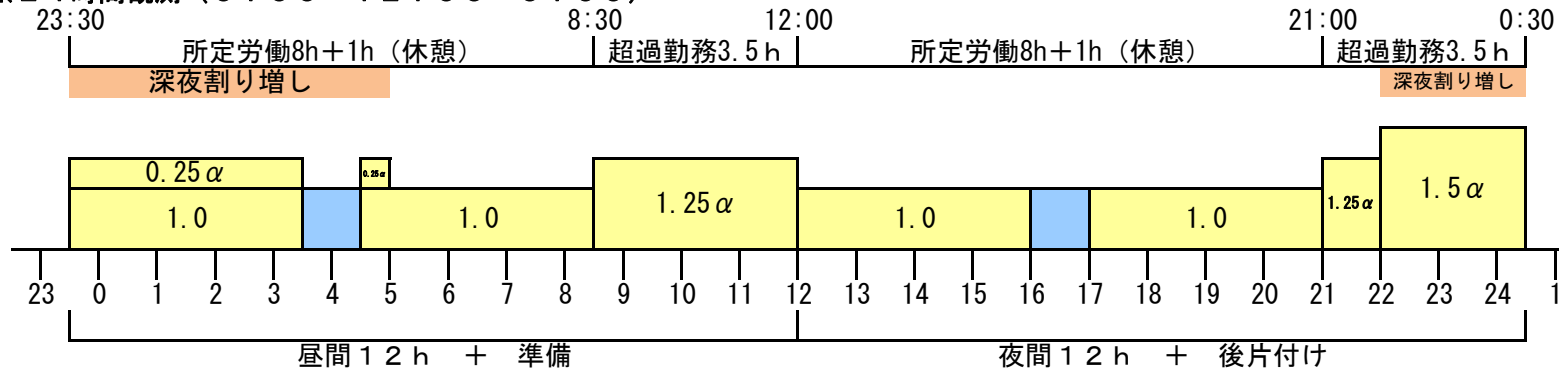
### ※24時間観測（7：00～19：00～7：00）



※交通量観測の前後に30分ずつ計1時間の準備及び跡片付時間を見込むものとし、24時間観測の場合の交代時には計上しない。

$$\begin{aligned} \text{昼間(12h)調査} &: P \times (1+r \text{ (3.5h} \times 1.25/8)) \\ &= P \times (1+4.375r/8) \\ \text{夜間(12h)調査} &: P \times (1+r \text{ ((5.0h} \times 0.25 + 1\text{h} \times 1.5 + 2.5\text{h} \times 1.25)/8)) \\ &= P \times (1+5.875r/8) \end{aligned}$$

※24時間観測（0：00～12：00～0：00）



※交通量観測の前後に30分ずつ計1時間の準備及び跡片付時間を見込むものとし、24時間観測の場合の交代時には計上しない。

昼間(12h)調査： $P \times (1 + r \cdot ((4.5h \times 0.25 + 3.5h \times 1.25) / 8))$

$= P \times (1 + 5.5r / 8)$

夜間(12h)調査： $P \times (1 + r \cdot ((1.0h \times 1.25 + 2.5h \times 1.5) / 8))$

$= P \times (1 + 5r / 8)$



# 旅行速度調査積算基準

## 適用範囲

この積算基準は、道路交通センサスの交通量調査（旅行速度調査）作業の予定価格算定に用いるものとする。

## 1. 作業計画

表－1 作業計画費内訳書

1 作業当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任監督員 (内業)	人	0.5			
監督員(内業)	人	0.5			

備考1：作業規模等により、これによりがたい場合は別途考慮するものとする。

## 2. 事前調査

表－2 事前調査費内訳書

1 作業当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員(外業)	人				1人×供用日数
ライトバン運転費	式	1			表－3
雑 品	式	1			5.4)による

備考1：事前調査は、実査に先立ち調査単位区間の起終点の確認や道路状況の確認のため1回だけ計上するものとする。

## ライトバン運転費

表－3 ライトバン運転費単価表

1 式・作業当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃 料	ガソリン	ℓ				運転1時間当たり燃料消費量(L/h)×運転時間合計
損 料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当たり損料
〃		日				供用日当たり損料
運転手	一般	人				1人×供用日数

備考1：運転時間は、実査における平常時の運転時間に準じるものとする。(実査の備考1参照)

備考2：供用日数は、実査における平常時の供用日数に準じるものとする。(実査の備考2,3参照)

備考3：上記によりがたい場合は別途考慮するものとする

備考4：宿泊は、必要に応じて計上するものとする

備考5：有料道路の事前調査による通行料は必要に応じて計上するものとする

## 3. 実査（旅行速度調査、プローブ調査）

### (1) 旅行速度調査

表－4 実査費内訳書

1 作業当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員(外業)	人				人×供用日数
ライトバン運転費	式	1			表－5
雑品	式	1			5.4)による

## ライトバン運転費

表－5 ライトバン運転費単価表

1 式当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
燃料	ガソリン	ℓ				運転1時間当たり燃料消費量(L/h)×運転時間合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当たり損料
〃	〃	日				供用日当たり損料
運転手	一般	人				1人×供用日数

名 称	調 査 対 象 区 間	空 走 区 間
ラッシュ時	ラッシュ時観測の最近実測時間。 実測値のない時は、近接区間の旅行速度。	平常時観測の最近実測時間 実測値のない時は、近接区間の 旅行速度、又は指定最高速度
平常時	平常時観測の最近実測時間。実測値のない時は、 近接区間の旅行速度、又は指定最高速度。	

備考 1 : 運転時間は、1日(6時間以内)でより現実的・経済的なコース(空走経路含む)を設定し各コース運転時間の合計を算出するものとする。

備考 2 : 供用日数は、前で求めた各コース運転時間の合計を6時間で除した値とする。

供用日数 =  $\frac{\text{運転時間の合計}}{6 \text{ 時間}}$  四捨五入による整数止。但し、1以下は1とする。

備考 3 : 監督員については2. で求めた値を二捨三入により0.5人単位とする。

備考 4 : 日帰り観測を原則とするが、調査区間が遠方であるなどやむを得ない場合は、宿泊を計上してもよいものとする。

備考 5 : 有料道路観測による通行料は必要に応じて計上するものとし、空走時においても有料路線を経由した方がよいと思われる時は空走経路の一部にしてもよいものとする。

## (2) プローブ調査

表-6 実査費内訳書

1 作業当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ライトバン運転費	式	1			表-7
雑 品	式	1			5. 1)による

### ライトバン運転費

表-7 ライトバン運転費単価表

1 式当たり

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
燃料	ガソリン	ℓ				運転1時間当たり燃料消費量(L/h) × 運転時間 合計
損料	ライトバン 1.5L	h				運転時間当たり損料
〃	〃	日				供用日当たり損料
運転手	一般	人				1人 × 供用日数

名 称	調 査 対 象 区 間	空 走 区 間
ラッシュ時	ラッシュ時観測の最近実測時間。 実測値のない時は、近接区間の旅行速度	平常時観測の最近実測時間 実測値のない時は、近接区間の 旅行速度、又は指定最高速度
平常時	平常時観測の最近実測時間。実測値のない時は、 近接区間の旅行速度、又は指定最高速度。	

備考 1 : 運転時間は、1日(6時間以内)でより現実的・経済的なコース(空走経路含む)を設定し各コース運転時間の合計を算出するものとする。

備考 2 : 供用日数は、前で求めた各コース運転時間の合計を6時間で除した値とする。

供用日数 =  $\frac{\text{運転時間の合計}}{6 \text{ 時間}}$  四捨五入による整数止。但し、1以下は1とする。

備考 3 : プローブ調査において監督員は計上しないものとする。

備考 4 : 日帰り観測を原則とするが、調査区間が遠方であるなどやむを得ない場合は、宿泊を計上してもよいものとする。

備考 5 : 有料道路観測による通行料は必要に応じて計上するものとし、空走時においても有料路線を経由した方がよいと思われる時は空走経路の一部にしてもよいものとする。

## 4. 資料整理

(1) 旅行速度調査資料整理

表-8 資料整理費内訳書

1 式・作業当たり

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
監督員 (内業)	人	1.0			
調査員 (内業)	人				
雑 品	式	1			5. 1) による

備考 1 : 監督員は数量にかかわらず 1 人とする。

調査員の数量は二捨三入により 0.5 人単位とする。

調査票の入力に要する調査員の数量は以下により求める。

調査員……100 枚/人・日

尚、複数回観測区間の調査票は複数回分の調査票を計上する。

(2) プローブ調査資料整理

資料整理が必要な場合は別途計上するものとする。

## 5. その他

1) 雑品の取扱い

雑品として、直接人件費（労務費）、材料費及び機械経費相当額に対して 0.5% を計上するものとする。